



おっ

おっ

おっ

「やああくあちゃん今日は来てくれてありがとうございます」

「…はい」

「わしについてくればまず間違いないからね
君の判断は正しいよ」



「早速で申し訳ないがわしも忙しいんでね」

「うっ…」

セッ

んんん

たがたが



「パンツがもうこんなに染み出てるぞ
期待しておったのかw」

「焦らずともたっぷりわしが可愛がってやるからの」

んっ

(気持ち悪いよ...)

しゃん



「そろそろいくかのう
下着を脱いでがに股になりなさい」

「あっ、ちゃんと手は頭の後ろに組んで
ま○こをさらけ出すようになw」

「…はい」



(なんでこんな気持ち悪いおじさんの
言いなりにならなきゃいけないの……)



「パンツにもわしが少し撫でただけで
マン毛がこびりついておるし
こりゃアイドル失格じゃな」

もわ、





「もしすぐにイッてしまおうような淫乱アイドルなら
この写真をわしの業界にばら撒くからのう
ちやんと許可するまでイッてはならんぞw」

(性格まで気持ち悪いなんて…)





「あまい声が漏れとるのうw」

ん
ん
ん
ん
ん

ん
ん
ん
ん



(だめだめこのぐらい耐えないと...)





「耐えちよるが間抜けで下品な顔になつとるのは
気が付いてないようじゃなw」



「まあおもちゃはこの辺でいいじゃろ」

あーん
あーん
あーん

まっかん
まっかん



「気が緩んでおしっこ漏らしおってw」
「やっぱりわしが直々に教育せんとな」

くっく





(こんな大きいなんて…
さっきまでせつかく我慢できてたのに…)

びびり

んんん

ニ音

ぐちゃぐちゃ

「おっおっビクビクしよるわい
勝手にいきおって、ほっれほれ」



んんん

んんん

んんん

(こんなきもいおじさんのおち○ちんで
感じたくないのに…)

おん

おん

ぽん

おん

(あたしの腰まで勝手に動いちゃう…)





ん
ん
ん
ん

ん
ん

ん
ん



(もう無理なにも考えられない...)

おっ

おっ
おっ

おっ
おっ

お



おっぱい

おまんこ

おっぱい



あははははは
あははははは
あははははは

あははははは
あははははは
あははははは

あははははは

半年後







おっぱい
お尻

「おどろきはやくらー♡」





「おち○ぽずぽずぽでめちやくちやにしていえー♡」

「ぽずぽず」

「ぽずぽず」

